

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き

(2023年3月調査)

1. 業況判断

3月調査では、製造業が改善し、非製造業が横ばいとなったことから、全産業では1と前回調査から2ポイント改善した。前回調査では悪化、水準は▲9を予測していた。

製造業 . . . 電気機械が悪化したものの、はん用・生産用・業務用機械が改善したことなどから、全体では▲7と前回調査から4ポイントの改善となった。前回調査では悪化、水準は▲16を予測していた。

非製造業 . . . 建設などが悪化したものの、宿泊・飲食・対個人サービスなどが改善したため、全体では8と前回調査から横ばいとなった。前回調査では悪化、水準は▲2を予測していた。

先行き (2023年6月予測)は、製造業、非製造業とも悪化するため、全産業では▲9と▲10ポイントの悪化を予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2022年度(計画)は、製造業は前年度比3.8%の増収、非製造業は同▲0.5%の減収となり、全産業では同1.7%の増収計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率▲1.0%)、非製造業(同▲2.8%)とも下方修正され、全産業では▲1.8%の下方修正となった。

2023年度(計画)は、製造業は前年度比2.8%の増収、非製造業は同3.9%の増収となり、全産業では同3.3%の増収計画。

(2) 経常利益

2022年度(計画)は、製造業は前年度比▲23.5%の減益、非製造業は同▲13.8%の減益となり、全産業では同▲21.1%の減益計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率▲6.3%)、非製造業(同▲18.3%)とも下方修正され、全産業では▲9.9%の下方修正となった。

2023年度(計画)は、製造業は前年度比4.7%の増益、非製造業は同3.9%の増益となり、全産業では同4.5%の増益計画。

3. 設備投資額(含む土地投資額)

2022年度(計画)は、製造業は前年度比98.7%の増加、非製造業は同▲61.6%の減少となり、全産業では同▲17.7%の減少計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率7.9%)、非製造業(同4.0%)とも上方修正され、全産業では6.5%の上方修正となった。

2023年度(計画)は、製造業は前年度比▲25.6%の減少、非製造業は同15.6%の増加となり、全産業では同▲11.6%の減少計画。

4. 雇用

雇用人員判断・・・ 製造業は「不足」超幅が拡大、非製造業は「不足」超幅が縮小し、全産業の「不足」超幅は▲34と前回調査から横ばいとなった。先行き(2023年6月予測)は、非製造業を中心に「不足」超幅の拡大を予測。

以上